

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
サンディング仕上げ
施工の手引き

平成20年2月作成

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー技術部
建設樹脂グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット JQ-200 標準色 JQ-200T (...数字) 特注色 JQ-200 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -ル缶	約13㎡/缶
骨 材	JF-3 JF-1	寒水石 (白竜) 3厘 寒水石 (白竜) 1厘	(20kg袋入の場合 約 4.0㎡) (20kg袋入の場合 約 7.4㎡)	

<主な施工道具>

- ・ 金ゴテ
- ・ 仕上げコテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・ オービタルサンダー (サンドペーパー#60)

<下地調整>

下地は、石膏ボードまたはモルタル金ゴテ押さえ (平滑) と
して下さい。

<サンディング仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500※	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	JF-3	10kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	1.5kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後出た鋺波を消すように平滑に押さえる。	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	JF-1	10kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	0.8kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後出た鋺波を消すように平滑に押さえる。 このとき金ゴテを一定方向に押さえない。	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

4. 研磨

<ul style="list-style-type: none"> ・表面の凹凸やコテ筋を平滑にするよう、オビカサガ- (サンドペーパー-#60)にて軽く研磨する。 壁面が濡れている状態では研磨しない。 研磨後、表面の粉を取り除くため、水拭きを行う。 	
---	--

<施工のポイント>

- ・ 下塗りにおいてできるだけ平滑に塗布する。このとき、凹凸があると、仕上がりにおいて表面に現れます。また、平滑にするときはコテをランダムに動かす。

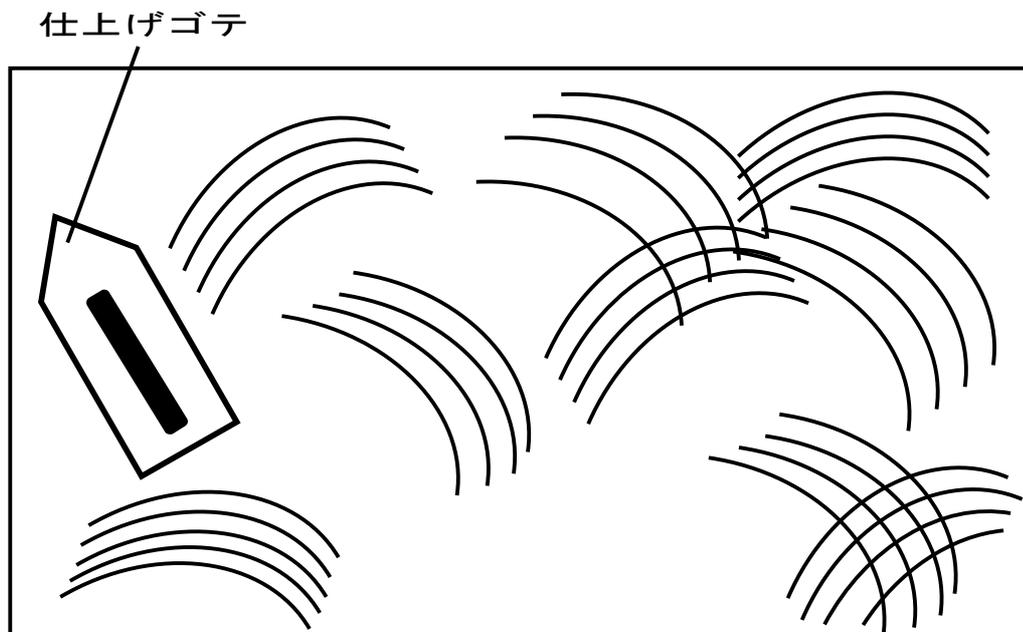


図 - 1

- ・ ディスクサンダーは表面を軽く削る程度とする。削りすぎると全体が平滑となり、ディスクサンダーが当たった部分と当たらない部分のムラが出なくなる。(図-2)

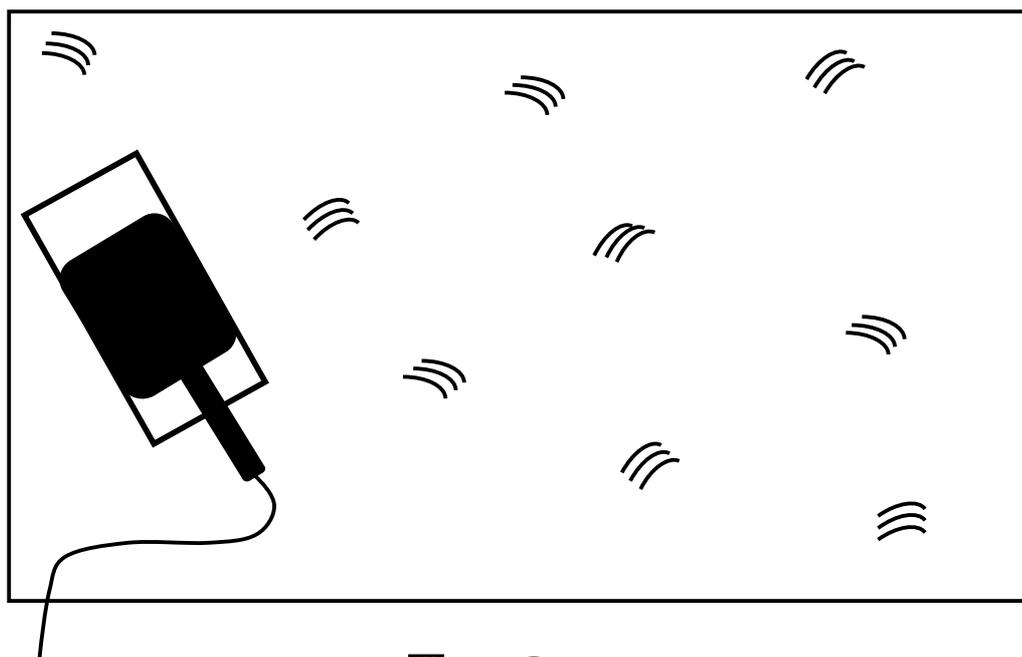


図 - 2

<施工の注意事項>

- ・ 塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。
(特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。)
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。
- ・ 施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤等で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用下さい。
- ・ 器具を洗浄した水を河川、側溝への施流は避けて下さい。

完全にフラットに仕上げることはできません。

以 上